※令和４年度以降入学生用

学校番号	201

令和８年度　社会科

教科	社会科	科目	地理探究	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	地理探究（二宮書店）　高等地図帳（二宮書店）						
副教材等	新詳地理資料　COMPLETE2024（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地理探究では、世界の諸課題を地球的な視野で捉えることにより、持続可能な社会の在り方について探究する力を身につけます。
授業では教科書・資料集を活用するとともに、何度かプレゼンテーションやレポート提出課題を行い、いわゆる定期考査とともに評価します。現代では「教科書に基づいて学ぶ知識」も「資料に基づいて行う思考」も「主体的に学び、それを人に伝える」力もすべて必要だと考えているからです。

2　学習の到達目標

・知識を蓄える。系統地理・地誌の基礎的知識を培い、多角的に物事をとらえる技能を養う。
・発信できる力を養う。プレゼンテーションや振り返り学習を通じて、他者への情報発信や、他の意見を取り入れ、自らの学習に繋げることができるように考えることができるようになる。
・地図・資料から情報を読み取り、課題解決に役立てようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○　地理的事象と自然環境や人々の生活、文化の多様性などとの関りについて理解している。 ○　地理的情報を地図や地理情報システム(ＧＩＳ)などを用いてまとめたり表現したりする技能を身に着けている。	○　地理に関わる事象の背景や意義，特色や相互の関連を，位置や分布、場所、人間と自然環境との関りなどに着目して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて考えたりすることができている。 ○　考察，構想したことを効果的に説明したり、議論したりすることができる。	○　地理的事象について、よりよい社会を実現するために、地理的諸課題を主体的に追究し、解決しようとしている。 ○　世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚が深まっている。
評価方法	出席状況 課題プリント 授業ノート 発表 学習の振り返り	定期テスト 課題プリント 討論・発表 学習の振り返り	定期テスト（資料の読み取り） 資料の読み取り 学習の振り返り

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　地域区分	1節　現代世界の地域区分 1　地域区分の目的と方法 2　さまざまな地域区分 3　本書でとりあげる地域と考察方法	a：世界の諸地域に関する様々な主題図や資料をもとに、世界の地域区分の方法や地域の概念、地域区分の意義などについて理解するとともに、地域区分を行う技能を身につけている。 b：世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や違い、特徴の分布などに着目して、主題を設定し、地域のとらえ方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：現代世界の地域区分について、そこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り
	第2章　現代世界の諸地域	1節　中国 1　経済の改革開放による変化 2　経済発展を支える人口 3　経済発展を支える農業の地域性 4　経済・産業の発展と現代の生活 5　経済成長と国内外の課題	a：工業化や経済発展が著しく、世界に対して大きな影響力を持つ中国について、民族や産業などの様々な事象を項目ごとに理解している。 b：工業化や経済発展が著しく、世界に対して大きな影響力を持つ中国について、民族や産業など様々な事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：中国について、そこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り

※令和４年度以降入学生用

		2節　韓国 1　東アジアのなかの朝鮮半島 2　朝鮮半島の文化と経済発展 3　韓国の課題と国際関係	ａ：日本と距離的に近く、急速な経済成長を遂げている韓国について、自然環境や歴史、生活文化、産業など様々な事象を理解している。 ｂ：日本と距離的に近く、急速な経済成長を遂げている韓国について、自然環境や歴史、生活文化、産業など様々な事象を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③韓国について、そこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り
		3節　東南アジア 1　東南アジアの成り立ちと多様な民族文化 2　自然環境と農業・食文化 3　工業化による発展と生活文化への影響 4　地域内外の経済発展と分化のつながり	ａ：近年、著しい工業化がみられるＡＳＥＡＮ諸国について、文化・民族や産業など様々な事象を理解している。 ｂ：年、著しい工業化がみられるＡＳＥＡＮ諸国について、文化・民族や産業など様々な事象を多面的・多角的に考察し、表現している。 ｃ：ＡＳＥＡＮ諸国について、そこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り
		4節　南アジア 1　自然環境と人口 2　住民と文化 3　農業と農村 4　産業の発展とグローバル化	ａ：近年、著しい経済成長を遂げているインドをはじめとする南アジアについて、産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて理解している。 ｂ：近年、著しい経済成長を遂げているインドをはじめとする南アジアについて、産業の発展や農村・社会の変化、国内の経済格差をはじめとする課題を、経済成長に関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ｃ：南アジアについて、そこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り

※令和４年度以降入学生用

２学期	第2章　現代世界の諸地域	5節　西アジア・中央アジア 1　多様な自然環境 2　民族と文化 3　資源開発の進展と生活の変化 4　地域紛争と国際関係	a：自然環境や生活文化で、共通点や異なる歴史的背景、地域ごとの特徴がある西アジアと中央アジアについて、それぞれの地域を比較し、一般性や地域の特殊性を理解している。 b：自然環境や生活文化で、共通点や異なる歴史的背景、地域ごとの特徴がある西アジアと中央アジアについて、それぞれの地域を比較し、一般性や地域の特殊性を多面的・多角的に考察し、表現している。 c：西アジアと中央アジアについて、そこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り
		6節　北アフリカ・サブサハラアフリカ 1　自然環境と農業 2　歴史と文化 3　産業と経済発展 4　地域紛争と国際関	a：アフリカとしてのまとまりをもっている一方で、経済規模や宗教などの点では大きく異なる点も多々ある、北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を理解している。 b：アフリカとしてのまとまりをもっている一方で、経済規模や宗教などの点では大きく異なる点も多々ある、北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：北アフリカとサハラ以南アフリカについて、そこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り

※令和４年度以降入学生用

		7節 ヨーロッパ 1 統合するヨーロッパ 2 統合の背景としての文化の多様性 3 自然と農業の地域性と共通農業政策 4 エネルギー・工業と貿易・交通の変化 5 ヨーロッパの変化と課題	ａ：第二次世界大戦後、ＥＵを中心とした政治・経済の統合を進めているヨーロッパについて、民族や産業など様々な事象を項目ごとに整理して理解している。 ｂ：第二次世界大戦後、ＥＵを中心とした政治・経済の統合を進めているヨーロッパについて、民族や産業など様々な事象を、多面的・多角的に考察し、表現している。 ｃ：ＥＵ諸国について、そこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り
		8節 ロシア 1 自然環境と民族・文化 2 体制転換と産業の変化 3 ロシアと世界の結びつき	ａ：社会主義国から体制が変化したロシアについて、農業や工業を国家体制の変化に関連づけて理解している。 ｂ：社会主義国から体制が変化したロシアについて、農業や工業を国家体制の変化に関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③ロシアについて、そこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り
		9節 アングロアメリカ 1 自然環境の多様性と自然災害の特徴 2 社会の多様性と多文化社会 3 世界をリードする農相と産業 4 世界と結びつくアメリカ	ａ：移民国家としての多様性や、世界有数の農業国、そして先端技術産業が盛んな国というように、様々な分野で世界をリードしているアメリカ合衆国について、そこでみられる様々な事象を理解している。 ｂ：移民国家としての多様性や、世界有数の農業国、そして先端技術産業が盛んな国というように、様々な分野で世界をリードしているアメリカ合衆国について、地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ｃ：アメリカ合衆国について、そこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り

※令和４年度以降入学生用

		10 節　ラテンアメリカ 1　多様な自然環境と農業 2　混ざりあう民族、拡大する都市 3　鉱工業の移り変わり 4　地域内外との政治的･経済的関係	ａ：ヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景と、それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて、文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて理解している。 ｂ：ヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景と、それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて、文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ｃ：ラテンアメリカについて、そこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り
		11 節　オーストラリア 1　自然と農牧業･鉱工業 2　多文化主義の社会と大都市の発達 3　世界との結びつき 12 節　ニュージーランドと島嶼国 1　オセアニアのなかのニュージーランド	ａ：南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があり、自然環境や産業では違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて、二つの国を比較し、類似する特徴を理解している。 ｂ：南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があり、自然環境や産業では違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて、二つの国を比較し、類似する特徴を、多面的・多角的に考察し、表現している。 ｃ：オーストラリアとニュージーランドについて、そこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り

※令和４年度以降入学生用

３学期	第Ⅲ編　現代世界におけるこれからの日本の国土像	1 節　現代日本に求められる国土像 1　2050 年の日本の姿 2　テーマ①　自然災害に強い国土をめざすには テーマ②　産業の変化と持続可能な成長 テーマ③　人口減少社会を活性化するためには テーマ④　多文化共生社会の実現をめざして 3　国土像の探究～エネルギーの安定供給を目指して	a：日本の強みをより生かせる将来について考え、持続可能な社会を構築していくには、どのようなことに取り組めばよいかについて理解している。現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し、持続可能な社会を目指すためには、どのような国土の在り方が望ましいかについて理解している。 b：日本の強みをより生かせる将来について考え，持続可能な社会を構築していくには、どのようなことに取り組めばよいかについて，多面的・多角的に探究し、表現している。現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し、持続可能な社会を目指すためには、どのような国土の在り方が望ましいかについて、多面的・多角的に探究し，表現している。 ｃ：将来の国土の在り方について、そこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。持続可能な日本の国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 発表内容	振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度